



## 【祈る人の特権とその祝福⑥】

聖書本文: マタイの福音書6章9-15節/マタイの福音書26章41節

説教者: 鄭南哲牧師  
(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族みなさん！ 去った一週間もみんなお元気でしたか。

また寒くなりそうです。是非風邪をひかないように、お体温かく大切にしてください。来週から、アワナの時に教会内のクリスマス飾りをはじめ、最後の主日の午後に教会の屋上から教会外のクリスマス飾り付けを行います。今年もともにクリスマスを待ち望み、共に準備して行きたいと願っております。どうぞご協力を宜しくお願い致します。

## ＜1. 本日の主の祈りの内容＞

今日はイエスキリストが弟子たちにあなたがたはこう祈りなさいと教えられた主の祈りを通して、祈る人の特権とその祝福が何か共に学ばされています。今日はその6回目としてメッセージを取りついで頂きたいと願っております。本日本文13節の「私たちが試みにあわせないで、悪からお救い下さい。(罪の誘惑と罠から自分を守るための祈り)」という内容をもとにしてともに考えて見たいと思います。

主が教えて下さった短い主の祈りの前半は神の御名、神の国、神の御心のために祈りなさいと教えて下さいました。自分の願いを求める前になぜ神様のことをまず求めることが私たちに大事なのかよく教えられました。

そして、後半の祈りの始まりは私たち人の霊肉と共に心の必要さ(赦し)のためにも具体的に求めなさいと教えられました。

そして、今日のところの御言葉は「私たちが試みにあわせないで、悪からお救いください。」という御言葉であります。

この祈りはイエス・キリストが弟子たちに自分の保護のために二種的に教えて下さった祈りであります。

前回に続き、つまり、「私たちの負い目をお赦し下さい。私たちも、わたしたちに負い目のある人たちを赦します。」という我々の罪が赦される祈りでしたがそれで終わっていません。父なる神様が我らを赦して下さいるように、我らをも互いに赦し合いながら、引き続き私たちが祈るべき内容としてイエス様は「試みにあわないように、陥らないように」求めることを教えて下さいました。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！ 私たちは日々罪を告白することによって、我らはイエスキリストが私たちのすべての罪を赦して下さいましたことを信じ、赦された喜びと感激に溢れます。まるでもうこれからは天国のような日々が自分には続くはずだし、赦された自分はこれから何にも問題なく、すべての罪に勝利し、乗り越えられる力と自信感を頂いたと思われたい。しかし、私たちがそのように油断して立っていると思われる瞬間、またサタンはまるで待ってたかのようにその隙間が見えとすぐさままた罪の罠で縛り付けられ倒れるように攻めて来ます。それでまた罪に絶望し、以前よりさらに無気力にさせます。自分がどう赦されたのかその赦しの恵みと救われた感謝と感激さえ忘れさせようとしています。愛し合い、赦し合うべき人の存在がいやになったり、恐ろしくなったりもします。それで、ついに教会から、信仰から、神様から離れさせようとするケースを我々はしばしば聞いたり、その似ている経験もしたことがある方々もいるかも知れません。

イエス様が姦淫を犯したある女の罪を赦された後、もう二度と罪を同じ犯してはいけないとおっしゃったことを私たちは覚える必要があります。 病気からいやされた人が再びそのような病気にならないようにいつも自分の健康や体を定期的にチェックし、顧みるべきと同じように、罪を赦された我々はまた罪の罠に陥りやすい様々な日ごろの罪を犯さないように、神様との関係をしっかりと保ちつつ、自分の魂と体をさぐり、いつも謙遜に祈る必要があるの事を今日の主の祈りは教えて下さっています。

## ＜2. 聖書の中の二つの試み＞

それでは今日の本文の聖書では「試み」ということは大きく二つの意味があります。

簡単にもう一度まとめて説明しますと、まず一つは神様からの我々のための訓練的な意味として試みがあって、二つ目はサタンからの破壊的な試みがあるということです。神様からの試みという訓練はテスト(Test)、もしくは訓練(Training)だと言えます。神様からの試みの目的は私たちを倒せたり、つぶすためではなく、信仰が試され我々が神への信仰と愛が強められ、成長のためであります。たとえば、学校で学生たちの実力を上げるためテストがあるように神様からのテストもあるのです。それがあつた時には色々な問題や試練の形として許される時もあります。しかし、この試みは私たちに有益となり、これを受けることにより素晴らしい信仰の成長と成熟が伴われます。最近毎朝続いているディボーションの内容ヨブ記書の中で、ヨブも神の試みに対し、こう告白しています。

「しかし神は、私の行く道を知っておられる。私は試されると、金のようになって出て来る。(ヨブ記23章10節)」

そして、申命記13章3節には、ご自分の民を荒野の中を歩ませたことに対してこう書かれています。「その預言者、夢見る者のことばに聞き従ってはならない。あなたがたの神、主は、あなたがたが心を尽くし、いのちを尽くして、本当にあなたがたの神、主を愛しているかどうかを知ろうとして、あなたがたを試みておられるからである。(申命記13:3)」ヤコブの手紙1章2-3節には、「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。3あなたがたが知っているとおりの、信仰が試されると忍耐が生まれます。(ヤコブの手紙1:2-3)」

しかし、もう一つの試み(Temptation)はサタンからのものです。今日の主の祈りの中の本文13節で「私たちが試みにあわせないで、悪からお救い下さい。」での試みは、神様から我らに向かむ試みではなく、サタンからの試みを意味します。

アメリカの有名なモレイ(Meyer)という先生はこのように言いました。

**“神様は私たちを引き上げるために、サタンは私たちを引き下げるために試みます。”**

確かにその通りです。今日の本文の**“私たちを試みに合わせないで”**の試みは**日ごろサタンから来る様々な試みに陥らないように**、その悪の誘惑と罠からの守りを意味しています。

サタンからの試みによる罪の墮落と破壊の状況に巻き込まれないよう神様に見守りを求める祈りなのです。

破壊的な試みはサタンからです。

使徒パウロも**コリント人への手紙第二2:11節**で私たちにこのサタンの策略に乗じられないように、欺(あざむ)かれないようにと教えています。**「それは、私たちがサタンに乗(じょう)じられないようにするためです。わたしたちはサタンの策略を知らないわけではありません。」**

そして、**ヨハネの黙示録2章24節**に、使徒ヨハネはティアティラにいる教会のクリスチャンたちに**“あなたがたはサタンの深みを知らないのか。”**と叱(しか)られました。**「しかし、ティアティラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。」**

つまり、**多くの人々はサタンという存在を信じません。**そして、悪霊の業についておろそかに、なおざりに考えてしまう場合が多いのです。今日はむやみに悪霊を歌ったり、甚(はなは)だしくは、悪霊を呼び入れる儀式や遊びを行ったり、無意識の中でサタンの暗闇や淫乱な文化を楽しんでいる人々も今日多くあります(例えハローイン10月31日アイランドから。死のドアが開けられ、死んだ人たちの魂を慰める、食べ物とか、お酒を用意しておいて、悪霊たちが、それだけを食べて帰れるように、幽霊、悪霊、おばけ扮装(ふんそう)することで、悪霊たちが自分を分らないようにさせる為?文化も全てが良いわけではないので、惑わされないように注意しましょう。)

**マタイの福音書24章10節で、「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。」**と言われたようにサタンは今日も多くの人がサタンの試みによってつまずいて、互いに憎み会って赦し合えないよう、愛し合い大切な存在をまるで敵のように別れさせようとしています。それによって神様が喜ばれること、愛すること、一になることができない(夫婦、親子、家庭、教会、教会の共同体など)ように、分けられ、分裂されるように押し寄せています。

ですから、私たちは自分を守り、家庭を守り、愛する人々との関係を大切に保って行くために、今日の主の祈りの本文の通りに祈らなければなりません!いつもサタンの策略としての試みに陥らず、負けず、よく見分け、立ち向かって対抗するために祈る必要があります(**ヨハネ17章15節「わたしがお願いすることは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、悪い者から守ってくださることです。」**)。その祈りによって、私たちは日々サタンの試みに会えるそんな場所、環境、機会をよく見極めなければなりません。戦うやり方も、避けるべき時には賢く避けることも必要でしょう。

### **<3.絶えず試みに会われたイエス・キリスト>**

愛するみなさん!イエス様のことをよく考えて見て下さい。イエスキリストは神であって、罪のなかった方です。

それにもかかわらず、この世に来られた瞬間からこの十字架の最後の時までサタンはつきまといながら、イエス様をしつこく絶えず試みに陥らせようとしてました。マタイの福音書4章によると、イエス様が荒野で**40日間断食を終えた直後、サタンはすぐ現われ3度試みました。**①石をパンになるように(人の体の本能と欲求に対しての誘惑) ②名誉と認めへの誘惑 ③物質と成功への誘惑がありました。**決して人が嫌いなものでもなく、帰って必要だと思っている物であり、全部欲しがらるもので誘惑していたことが分かります。**そのためイエスキリストはこの世におられる時には絶えずサタンの試みと妨げに戦わなければなりませんでした。

**ルカの福音書22章28節**を見て下さい。**「あなたがたは、わたしの様々な試練の時に、一緒に踏みとどまってくれた人たちです。」**

(Ye are they which have continued with me in my temptations.)

これを見ると、イエス様さえもこの世では試みを避けず、いろいろサタンの誘惑の試練に会われたと言われました。イエス様がお生まれになる時からサタンはイエス様のお生まれを妨げようとしてましたし、イエス様が公に神様の御業のため働くために40日間も断食の祈りをされた直後もサタンはやって来て試みました。イエス様が神の御言葉を語られているところにも、そして全人類の罪を負うあの十字架のところにもサタンは来ていました。サタンは時期、場所、人と関係なく、イエスキリストが試みに陥られるようたえず激しく、しつこく攻めて来たことを聖書の御言葉を通して我々はよく知っています。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん!我々がその事実を深く覚えるとき、教えられ、得られる教訓は何ですか。**イエス様でさえ、しつこかったサタンが今日罪赦され、救われたクリスチャンたちである私たちをそっとおいてくれるでしょうか。**

きっと私たちのよわい部分を知っているサタンは今年中も私たちに当然さまざなな面で誘惑し、破壊的に試みると思います。そして、御言葉を通してさらに分かることはイエス様が父なる神様を喜ばれようとすればするほど、福音を述べ伝えようとすればするほどサタンもさらに悪辣(あくらつ)になって攻めて来たし、初代主の教会が建てられ、信徒たちが一つとなって神の御国の前進のため力を会わせていけば行くほど、サタンもさらに激しく試みに陥らせようとした事がわかります。

ですから、サタンの倒せるための攻撃のターゲットは罪赦され、これから神様の栄光のため、主イエスキリストのため生きようとする人たちであり、主が喜ばれることのため献身し、熱心に祈っている人たちであることも忘れないで下さい。そうじゃない者たちに対しては別にサタンが触らなくても、そのままほったらかしておいても、神を離れ、神様と関係なく、サタンが願っている通り生きて行くからです。

神様のために我々が働けば、働くほど、キリストの愛と信仰を持って一つになろうとすればするほど、仕えようとすればするほど、サタンもそのぐらい動きます。

だからもしみなさんの中で、‘あ、先生、そうだったら、あんまり祈らないほうが良いし、神様のために働かないほうが良いんじゃないでしょうか。そうすると、サタンも動かないし、試みに会わせないようにするはずだし。。’と質問されたら、確かに、祈らない人にはサタンも別に攻撃や試みに陥るようには別に何もしないとします。なぜなら、そのような人にはサタンが何もさわらなくても神様の御心を探らないし、従わず、ただ自分勝手に続けて行けるから、そのまま置いておいても結局そのままサタンの思い通りに試みに陥りますので一番容易いのではないのでしょうか。

しかし、愛するみなさん！ 恐れなくて下さい。そして、心配もしないで下さい。もちろん、サタンの力と存在を無視してはいけません、いくら激しく、しつこく、ずるかしこく誘惑し、惑わして来ても、我々は安全です。そして、その破壊的な試みに陥らず、十分それに対抗し、また乗り越えることもできます。どうやってでしょうか。その秘訣があまりにも簡単すぎると思うかも知れませんが、今日の本文の主の祈りがその武技なのです。

愛するみなさん！ そういうわけで、イエスキリストは愛した弟子たちのため“試みに陥らないように自分の力ではなく、自分の考えではなく、神の力、神の分別力と知恵によって自分の思い、心、体、生活の営みを助けてください”と教えられたこの祈りをよく覚えて、日々用いる必要があるわけです。

#### <4. 悪からお救い下さい！：二重的装置>

そして、イエス様は引き続き「私達を試みにあわせなくて悪からお救い下さい。」という祈りも付け加えてくださってサタンの様々な試みや戦いから守られるように二重的安全装置の祈りであることが分かります。ここで悪という単語を宗教改革者であったマルティン・ルター先生は‘悪魔(サタン)の策略’だと解釈し、アグステンという先生は‘様々な悪い罪の行為’だと言いましたが、どちらでも私は良いと思います。“今日も私達をサタンの計略と罠から救い出して下さい。”、“私達が陥りやすい様々な罪の行為から救ってください。”どちらでも祈れるでしょう。

#### <5. 我々の軟弱さを悟らせて下さる祈り>

もちろん、みなさん、今日のこの祈り自体が二重的に“私達を試みに合わせなくて下さい。そして、悪からお救い下さい。”というサタンの試みから安全と保護を下さる祈りであります。その破壊的な試みに陥らず、我々にたえず襲い掛かってくるサタンのさまざまな誘惑と戦いに負けずに、自分を守ることができるのです。それは、今日の祈りを祈るたびに、実は自分だけにはサタンの強烈な試みと攻撃に対抗する何の力もない、軟弱な自分であることを神の前でいつも自覚させてくださいます。今日の祈りは自分にはできないからこそ、すべてを神様によりたより、委ねられる祈りではないのでしょうか。自分の弱さを自覚し、それを認め、神の助けと力を求める！ 今日この主の祈りこそ、我々を守り、ついに勝利にも導いて下さいます。

愛するみんなさん！ もっと正直にこのように日々祈らなければ、日々さまざまな試みの正体(しょうたい)が見分けれます。創世記のエバがサタンから欺けられた時、それが試みだとも知りませんでした。それで蛇の質問通りに答え、蛇が導くまま従ってしまいました。私達もそのような弱さがあるでしょう。人はいつも試みに陥ってから、それが神様ではなく、サタンの試みだったと後悔しながら分かるようになりがちです。

イエス様に一番熱心に従っていた弟子ペテロを考えて見て下さい。彼もそうでした。一番熱心だったペテロ、イエス様にあなた様は生ける神の御子であられるという素晴らしい信仰告白もした彼でしたが、イエス様の十字架の死を積極的に止めようとした。それがサタンの試みであることを彼はさっぱり気づきませんでした。しかし、それをご存知だったイエス様が「下がり、サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている(マルコ8章33節)」と叱られました。

愛する信仰の家族のみなさん！ 事実、今日私達もそのように抱えている弱さ、問題があります。サタンは見えない存在です。しかし、必ず我らのうちに、思いの中で変な思いを、否定的な思い、考えてはならない考えなど入れようとしてます。ですから、この思いがいったい神様が喜ばれる思いなのか、サタンからの考えなのかよく見極めるために我々は日々祈る必要があります！

ヤコブ人への手紙1章14節によりますと、「人が誘惑にあうのは、それぞれ自分の欲に引かれ、誘(さそ)われるからです。」ある時、私達は思い浮かぶこの考えが決して神様が喜ばれないことを知っていながら続けて放置し、結局、思い通りに行なってしまいます。今の誘惑通りに続いて進んでしまうと、自分にも、家族にも決してよくない結果になりことを聖霊様が我々の心に、思いに、良心に訴えて下さって何となく分かっているながらもなかなか断ち切れない悪い癖や習慣などの弱さは持っていませんか。

誘惑をそのまま続けて赦してしまうと、自身の人生も、家族が傷つけられてしまい、分裂が起こるのを知っていながら、その試みを美化させながら、自己合理化(ごうりか)して進んでしまう場合もあります。決して神様が喜ばれないことを、そのまま続けてしまうと、結局自分の尊い人生が燃やされ、滅んでしまうことを知っていながらも、なかなかあきらめないまま進もうとする我々の弱さがあります。私達人間がこれほど弱いのです。(テモテへの手紙第二3:1-5)

愛するみなさん！ 神様の前でこんな弱さ、そして、試みだらけのこの世の中で我々が生き残る道は何でしょうか。それは祈りしかありません。ですから、イエス様は弟子たちに「誘惑に陥らないように、目を覚まして祈っていなさい。霊は燃えていても肉は弱いのです。」(マタイ26:41)と教えて下さったのです。軟弱な自分に頼らないで却って神が上から下さる力、知恵、そして神様から与えられる強い信仰のパワーを持つ時こそ今日もサタンのさまざまな試みと誘惑と戦えるし、ついに勝てる真理の秘訣を決して忘れないで下さい。

「父なる神様！今日もサタンの試みに会わないで、様々な悪の誘惑から、罠から我らをお救い、守って下さい！」と祈って下さい。毎日始まる日を向かいながら、だれと合う時に、仕事をする時にも、日々目をさましてこのように祈りましょう。

## <6. 悪に対して対抗し勝利する武具：神に従う祈りと神の御言葉>

ところが、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族みなさん！イエスキリストは我らがいくら弱くても試みに会わないで、悪から救われるだけではなく、対抗し勝利する方法も聖書にはちゃんと教えてくださっています。それはどうやって可能でしょうか。

**ヤコブの手紙4章7節「ですから、神に従い、悪魔に対抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。」**

そして、**エペソ人への手紙6章11-12節には「悪魔の策略(さくりやく)に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具(ふぐ)を身に着けなさい。12私たちの格闘(かくとう)は血肉(けつにく)に対するものではなく、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天にいるもろもろの悪霊に対するものです。」**

それが今日教えられたように**見分ける・自分を守り、対抗できる「祈り」**であります。

**エペソ人への手紙(Ephesians)6章18節「あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。」**

神様の前で祈らない人ほど、霊的に高慢な人はいないと思います。私たちが祈れば、神様は具体的にさまざまな方法で試みに会わないように導いて下さいます。神に祈りの形を通して委ねる人にはその時、その時試みから勝てる最善な道を開いて見せて下さいます。

そして、**イエス様がサタンの誘惑に対抗し、打ち勝ったもう一つの方法が「神の御言葉」**もあります。マタイの福音書4章によると、イエス様が荒野で40日間断食を終えた直後、サタンはすぐ現われ3度試みに会われた事にイエス様はどのように対抗し打ち勝ってくださったのでしょうか。ずる賢いサタンに対し、神の知恵と力なる神の御言葉を用いられた事がわかります。

①石をパンになるように(人の体と本能に対する誘惑)：(4イエスは答えられた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。)

②(神の子に対する名誉と認めへの誘惑)「5すると悪魔がイエス様を聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端(はし)に立たせて、6こう言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げなさい。『神があなたのために御使いたちに命じられる。彼らはその両手にあなたをのせ、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてあるから。」7イエスは言われた。『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」

③(物質成功に対する誘惑)イエスを非常に高い山につれて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょうと誘惑された時に、「10イエス様はこう言われた。『下がれ、サタン。『あなたの神である主を礼拝しなさい。主のみ仕えなさい』と書いてある。』11すると悪魔はイエスを離れた。そして、見よ、御使いたちが近づいて来てイエスに仕えた。)」

すでに書かれていた**神の御言葉によって対抗し、サタンの策略や試みに陥られず、打ち勝つ事が出来たイエス様のお手本**を我々はこれからも忘れないようにしましょう。

**ヘブル人への手紙(Hebrew)4章12節「神のことばは生きていて、力があり、両刃(もろは)の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄(こつずい)を分けるまで刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。」**

**詩篇(Psalm)119篇97-98節「どれほど私は、あなたのみおしえを愛していることでしょうか。それがいつも私の思いとなっています。あなたの仰(おお)せは、私を私の敵よりも賢くします。それはとこしえに、私のものだからです。」**

**テモテ人への手紙第二(2Timothy)3章15-17節「また、自分が幼いころから聖書に親しんで来たことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。17神の人がすべての良い働きのためにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。」**

メッセージを終わらせたいと思います。日々神の御言葉を握り、祈りをもって父なる神様との関係をしっかり保って歩みましょう。主が教えて下さった主の祈りと神の御言葉を武具として身につけている人はだれでも、どんな試練がやって来ても、どんなサタンの攻撃や試みが待っているとしても、つまずかないことのみならず、その試みに打ち勝つことができます。もし、倒れてもまた、立ち上がることも出来ます。主が必ず御言葉と祈りを握っている者たちを助けて下さるからです。

主の祈りをもとにして、祈りつつ勝利して行く残りの11月と今年となりますように切にお祈り申しあげます！

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！これにもかかわらず祈らない理由がありますか。11月日々祈りを通して生きておられる父なる神の力と御言葉の知恵の御言葉を通して日々守られ、勝利するみなさんとなりますように心から祝福し、お祈り申し上げます。

“主よ。今日も私たちの思いと心と体がサタンの試みに陥らないように助けて下さい。罪深いこの世の中で我々の夫が、妻が、子どもたちが試みに会わないように、様々な罪の誘惑と罠から我らを守り、救って下さいますように、イエスキリストの御名による祈りを通して、毎日アドナイニッシ：神の勝利を体験して生きますようにお祈りいたします。アーメン！”